

タイトル: miRNA定量 例2

カテゴリ: miRNA, RNAi 関連

キーワード: miRNA, RNAi

データソース: BIO VIEW / Clontech April 2009

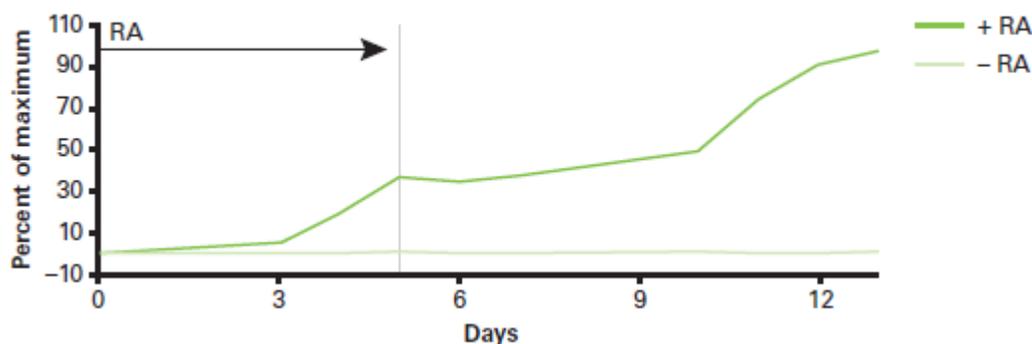
方法:

レチノイン酸に暴露することによって神経様に形態変化するマウスP19細胞にて、形態変化に伴う細胞内miRNAプールにおける変化をmiR-9を指標とした定量によりモニターした。

- 1) マウス胚性癌腫細胞であるP19細胞を、アガロースコートしたペトリディッシュに播種し、レチノイン酸(RA)の存在下／非存在下で胚様体(EB)を形成させた。
- 2) 培養5日後、EBをトリプシンではがし、新しい組織培養用ディッシュに移し、RAの無い条件で培養する。
- 3) RA添加によって起こるmiRNAプールの変化を、miR-9配列に特異的なプライマーも用い、Mir-X miRNA qRT-PCR SYBR Kit ([製品コード 638314](#))を用いて定量を行った。なお、定量の際のコントロールとしてはU6を基準とした。定量は、1)の培養開始後から3～7日後、10～13日後の各サンプルについて行った。

結果:

RA添加によるmiR-9の発現量の変化をモニターできた。



備考: